

2023年11月10日

上場会社名 コンドーテック株式会社
 コード番号 7438 URL <https://www.kondotec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 矢田 裕之

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	37,864	4.5	2,234	15.3	2,330	14.3	1,545	19.9
2023年3月期第2四半期	36,229	15.7	1,938	19.8	2,038	19.7	1,289	21.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,605百万円 (26.0%) 2023年3月期第2四半期 1,274百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	60.61	
2023年3月期第2四半期	50.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	59,100	34,498	55.0
2023年3月期	58,163	33,285	53.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 32,491百万円 2023年3月期 31,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		17.00	34.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	3.4	4,500	3.3	4,700	3.0	2,900	20.1	113.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	26,344,400 株	2023年3月期	26,344,400 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	826,382 株	2023年3月期	864,922 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	25,496,132 株	2023年3月期2Q	25,491,524 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行するなど、感染拡大防止のための経済社会活動の制限が緩和され、緩やかに回復してまいりました。しかしながら、円安の進行、人件費の上昇、資材価格及びエネルギー価格の高止まりなどにより、景気や企業収益は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、底堅い動きであった住宅投資が足元では弱含んでいるものの、民間設備投資が持ち直していることに加え、公共投資が堅調に推移するなど、分野によって濃淡がある状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは、需要が旺盛な分野に注力するとともに、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、新商材の拡販などの成長戦略に取り組んでまいりました。

以上の結果、民間設備投資を中心に持ち直している需要を取り込むとともに、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進めたことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は37,864百万円(前年同期比4.5%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率が改善したことに加え、運賃や人件費を中心とする販売費及び一般管理費の増加などを増収効果で吸収したことにより、営業利益は2,234百万円(同15.3%増)、経常利益は2,330百万円(同14.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,545百万円(同19.9%増)と増益になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業資材>

製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進めたものの、分野によって需要動向に濃淡があり受注量が伸び悩んだ結果、当セグメントの売上高は18,221百万円(前年同期比0.1%減)となりました。利益面につきましては、運賃や人件費の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進め、売上総利益率が改善した結果、セグメント利益は1,248百万円(同12.1%増)となりました。

<鉄構資材>

鉄骨需要は中小物件が停滞する一方で大型物件が好調に推移するなど分野によって濃淡がある中、需要が旺盛な分野に注力したことに加え、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進めた結果、当セグメントの売上高は10,472百万円(前年同期比7.7%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との価格競争の激化による売上総利益率の低下に加え、運賃や人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は831百万円(同1.8%減)となりました。

<電設資材>

ロシア・ウクライナ紛争の影響等を起因とする原材料や物流コスト等の費用上昇に伴い、メーカー各社からの仕入価格の引き上げ要請が強まる中、費用に応じた価格設定と店舗LED化等カーボンニュートラルに順じた営業展開を推進した結果、当セグメントの売上高は4,879百万円(前年同期比6.2%増)となりました。利益面につきましては、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁、仕入価格引下げ交渉の徹底、工事込み案件の取り込み等、売上総利益率を意識した営業展開に努めましたが、人件費等の増加分を吸収できず、セグメント利益は131百万円(同7.4%減)となりました。

<足場工事>

民間建設投資が持ち直していることを背景に、近年注力している大型物件(非住宅)向け工事売上やレンタル売上が好調に推移したことに加え、大口の足場機材の販売が寄与した結果、当セグメントの売上高は4,291百万円(前年同期比16.9%増)となりました。利益面につきましては、増収効果や原価上昇分の販売価格への転嫁が進み売上総利益率が改善したことに加え、販売費及び一般管理費が横ばいにとどまった結果、セグメント利益は31百万円(前年同期はセグメント損失157百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末（58,163百万円）と比較して937百万円増加し、59,100百万円となりました。これは、棚卸資産の減少等があったものの、売上債権の増加等を主因として、流動資産が256百万円増加したとともに、のれん等の償却による無形固定資産の減少等があったものの、有形固定資産の増加等を主因として、固定資産が681百万円増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末（24,878百万円）と比較して275百万円減少し、24,602百万円となりました。これは、仕入債務及び未払消費税等の減少等を主因として、流動負債が632百万円減少した一方で、長期リース債務の増加等を主因として、固定負債が356百万円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末（33,285百万円）と比較して1,213百万円増加し、34,498百万円となりました。これは、剰余金の配当433百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,545百万円の計上による増加等があったことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末（53.8%）比、1.2ポイント改善し55.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末（10,733百万円）と同等の10,816百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、前年同期に獲得した資金（1,656百万円）と比較して229百万円減少し、1,426百万円の資金を獲得しました。

これは、売上債権の増加572百万円、仕入債務の減少702百万円及び法人税等の支払い873百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上2,392百万円、減価償却費の計上568百万円及び棚卸資産の減少444百万円等により資金を獲得したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、前年同期に使用した資金（900百万円）と同等の971百万円の資金を使用しました。

これは、有形固定資産の取得1,078百万円等により資金を使用したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、前年同期に使用した資金（1,428百万円）と比較して1,035百万円減少し、392百万円の資金を使用しました。

これは、配当金の支払い432百万円等により資金を使用したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想におきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,733	10,816
受取手形、売掛金及び契約資産	14,181	14,131
電子記録債権	3,695	4,431
商品及び製品	6,446	5,849
仕掛品	770	827
原材料及び貯蔵品	915	1,011
その他	670	598
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	37,402	37,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,664	3,593
土地	9,380	9,737
その他（純額）	2,358	2,875
有形固定資産合計	15,403	16,206
無形固定資産		
のれん	2,883	2,716
その他	1,403	1,423
無形固定資産合計	4,286	4,139
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	110	159
その他	981	958
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	1,070	1,095
固定資産合計	20,761	21,442
資産合計	58,163	59,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,015	4,647
電子記録債務	9,738	9,405
短期借入金	3,610	3,610
1年内返済予定の長期借入金	224	260
未払法人税等	946	918
賞与引当金	878	899
その他	2,216	2,257
流動負債合計	22,630	21,998
固定負債		
長期借入金	512	575
退職給付に係る負債	316	328
その他	1,418	1,700
固定負債合計	2,247	2,604
負債合計	24,878	24,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666	2,666
資本剰余金	2,434	2,438
利益剰余金	28,472	29,584
自己株式	△893	△853
株主資本合計	32,679	33,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	122
繰延ヘッジ損益	△11	10
土地再評価差額金	△1,510	△1,510
為替換算調整勘定	69	88
退職給付に係る調整累計額	△66	△54
その他の包括利益累計額合計	△1,395	△1,343
非支配株主持分	2,000	2,006
純資産合計	33,285	34,498
負債純資産合計	58,163	59,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	36,229	37,864
売上原価	28,445	29,496
売上総利益	7,784	8,368
販売費及び一般管理費	5,846	6,133
営業利益	1,938	2,234
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2	2
仕入割引	66	69
雑収入	41	33
営業外収益合計	111	106
営業外費用		
支払利息	4	6
雑損失	6	3
営業外費用合計	10	10
経常利益	2,038	2,330
特別利益		
固定資産売却益	7	47
投資有価証券売却益	—	29
特別利益合計	7	76
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	7	13
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	8	15
税金等調整前四半期純利益	2,038	2,392
法人税、住民税及び事業税	737	848
法人税等調整額	△8	△9
法人税等合計	728	839
四半期純利益	1,309	1,552
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,289	1,545

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,309	1,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△1
繰延ヘッジ損益	△15	22
為替換算調整勘定	13	19
退職給付に係る調整額	△6	12
その他の包括利益合計	△35	52
四半期包括利益	1,274	1,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,254	1,596
非支配株主に係る四半期包括利益	19	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,038	2,392
減価償却費	557	568
のれん償却額	190	166
株式報酬費用	11	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	94	20
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△17	△18
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△57	△30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	33	11
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	4	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△29
固定資産売却損益 (△は益)	△7	△45
固定資産除却損	7	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△499	△572
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△612	444
仕入債務の増減額 (△は減少)	380	△702
未払消費税等の増減額 (△は減少)	230	△130
その他	40	196
小計	2,397	2,303
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△739	△873
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,656	1,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△879	△1,078
有形固定資産の売却による収入	11	127
投資有価証券の売却による収入	0	33
その他	△32	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△900	△971
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	450	215
長期借入金の返済による支出	△139	△116
自己株式の取得による支出	△291	△0
配当金の支払額	△410	△432
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△33	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,428	△392
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△654	83
現金及び現金同等物の期首残高	10,164	10,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,510	10,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	18,246	9,719	4,594	3,669	36,229	—	36,229
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	173	40	150	66	431	△431	—
計	18,420	9,759	4,744	3,735	36,661	△431	36,229
セグメント利益又は損失(△)	1,113	847	142	△157	1,946	△8	1,938

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△8百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	18,221	10,472	4,879	4,291	37,864	—	37,864
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	186	47	83	52	369	△369	—
計	18,407	10,520	4,962	4,343	38,233	△369	37,864
セグメント利益又は損失(△)	1,248	831	131	31	2,244	△9	2,234

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。